

# Coca-Cola CJ

第10期 決算報告

株主のみなさまへ



コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社

*Coca-Cola Central Japan Company, Limited*

平成23年3月発行 証券コード：2580

# 経営理念

お客さまに商品の安全をお約束し、爽やかさと満足をお届けします。

株主、従業員の期待に応え、企業価値を高めます。

地域社会に貢献し、環境の持続的な改善に努め、良き企業市民を目指します。



## CONTENTS

経営理念	1
ごあいさつ	2
特集① 中期経営計画「Re-birth 2011」2年目の取り組み	3
特集② 販売体制の強化	5
TOPICS	6
2011年春季新製品のご紹介	7
財務ハイライト	8
営業概況	9
連結財務諸表の要旨	10
株主インフォメーション	12
経営体制	13
株式の状況	14
会社の概要・株主メモ	裏表紙

## ごあいさつ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

ここに、第10期（平成22年1月1日から平成22年12月31日まで）の営業状況などにつきまして、ご報告申し上げます。

当期のわが国経済は、政府による経済対策の後押しをうけ、企業業績やGDP成長率の回復が見られたものの、依然として雇用・所得環境は厳しく、欧州における財政問題の深刻化や急激な為替相場の変動など、景気の下振れリスクを抱えた先行き不透明な状況で推移いたしました。

清涼飲料業界におきましては、景気の先行き不透明感が継続する中、消費者の生活防衛意識が一段と厳しさを増した1年となりましたが、夏季における記録的猛暑により、市場規模は前年比プラス2%程度で着地いたしました。

こうした状況下におきまして、当社グループは、猛暑を追い風に上期のマイナスを取り戻すとともに年間を通じてSCM体制の効率向上、諸経費の圧縮等、収益構造改革に着実に取り組んだ結果、販売数量、売上高、利益ともに前年を上回ることができました。

当期の業績につきましては、後掲の「営業概況」に記載のとおりであります。

なお、期末配当金につきましては、平成23年3月29日開催の定時株主総会の決議により、1株につき18円とさせていただきます。

今後も消費者の生活防衛意識の高まりによる買い控えや販売価格の下落、企業間のシェア争いなど、厳しい経営環境が続くものと見込まれますが、「ブランド力の強化」、「ベンディングチャネルでの自販機開拓強化」、「地域密着体制によるエリア戦略の強化」に取り組み、引き続き業績の向上に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年3月

代表取締役社長

高橋 顕三



最終年度

いかなる環境下でも  
収益確保できる  
企業へ変革

# 計画最終年度の総仕上げに着手 収益構造改革のネクストステップへ

「営業戦略」と「SCM戦略」を中心に、  
収益構造の改革を推進する  
3ヵ年中期経営計画「Re-birth 2011」。  
その2年目における取り組み成果を  
ご報告するとともに、次の飛躍に向けた  
最終年度の展開についてご説明します。



## ◆ コスト改善効果を着実に創出

中期経営計画「Re-birth 2011」の基本方針である収益構造改革の実行により、主にSCM戦略において目標を大きく上回るコスト改善を達成できる見込みであります。しかしながら消費低迷や販売価格の下落等の影響により、2011年の中計

到達目標である売上高(2,144億円)、営業利益(65億円)の達成は厳しい状況にあります。

2011年度は「売上高・シェアの拡大」を主要課題とし、「収益構造改革」をベースとしてエリア戦略を柱とした成長戦略の実践により、継続的に成長する企業を目指します。

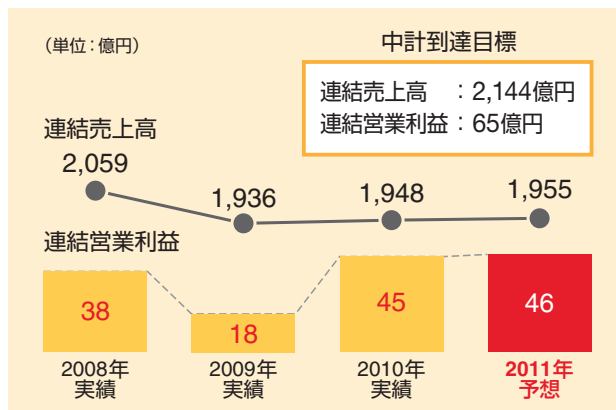
コスト改善効果については、  
目標値の42億円を上回る58億円の創出を予定

(億円)		(億円)	
ペンディングオペレーションコスト	4	製品合理化	12
自販機管理コスト	10	生産性の向上	11
営業戦略合計	14	SCM体制の変更	21
		SCM戦略合計	44

+

**コスト改善効果 合計 58億円**

※2009年～2011年見込み



※2009年に会計処理の変更を実施しており、2008年実績を2009年以降と同基準に組替えた場合、連結売上高は、2,035億円となります。

2009年度  
レビュー

- エリアを軸とする新体制の導入など、営業活動の基盤整備に照準を定めた取り組みを進め、地域密着型営業を強化
- ベンディングビジネスの再構築と自動販売機（自販機）関連のコスト削減を推進
- 製造・物流体制の効率化および取扱品目の削減に着手

2010年度  
レビュー

コスト改善による着実な利益成長を達成。ベンディングオペレーションにおけるルート数の最適化や自販機管理コストの見直し、全国SCM体制からCCEJP<sup>※</sup>を中心とした関東SCM体制への変更による効率的な運営および生産性の向上、取扱品目の合理化によるコスト削減が効果を上げました。

《営業戦略》

- **ベンディングルートの外部委託と適正化による生産性向上**
- **自販機管理コストを削減**
  - ・ 自販機保管場所を削減・集約

《SCM戦略》

- **インフラ基本計画の検討**
  - ・ 最適な生産、物流ネットワークによるコスト削減効果シミュレーションを実施
- **取扱品目を合理化し、コスト削減**
  - ・ 関東4社とCCEJPIによる実施

2011年度  
目標

売上高・シェアの拡大を目指しながら引き続きベンディングオペレーション改革を推進し、グループ全体の最適化体制を検討。さらに、エリア別成長戦略の策定とともに、経営資源の配分見直しを進めていきます。SCM戦略では、関東における効率的な生産・物流体制と供給ネットワークの構築に向けて、基本計画を具体化。一層の製造コスト削減を目指します。

《営業戦略》

- **ベンディングオペレーション改革**
  - ・ グループ全体のオペレーション体制を検討
- **エリア戦略の実践**
  - ・ エリア別成長戦略を策定
  - ・ 成長エリアへの経営資源の重点配分を見直し

《SCM戦略》

- **インフラ基本計画の検討**
  - ・ 具体的な投資計画と移行計画を検討
- **拠点在庫保管方法の見直し**
  - ・ 在庫を適正化し、滞留在庫を削減

※ コカ・コーライーストジャパンプロダクツ株式会社の略

# 地域密着体制によるエリア戦略の強化

## 中京地区および静岡県における営業力強化

当社グループでは地域密着体制によりエリア戦略を強化することにより、競合シェアの奪取に向けて取り組んでおります。

2011年1月1日付で中部支社を新設し中京地区における営業体制および管理機能の強化を図るとともに、静岡県に静岡販売部を新設し、市場特性にきめ細かく対応した営業体制を導入しました。

エリア戦略の一環として、昨年より、「東海地方の元気を応援したい」というテーマのもと、下記に紹介する「でら! ジョージア」プロジェクトを実施しています。

## 「でら! ジョージア」プロジェクト

昨年8月、「でら! ジョージア」のアイコンをデザインした「ジョージア ヨーロピアン コクの微糖」を東海地方限定で投入するとともに、さまざまなPR活動や地域限定消費者プロモーションを実施しました。



### ジョージア でら! 珈琲

コンセプトは「コクうまなのに糖類ゼロ」。11月に東海地方限定で発売されました。

## ▶▶▶ さまざまなPR活動を展開

### ユニークなエリア特化型活動を展開

「でら! ジョージア」プロジェクトでは、名古屋・名鉄百貨店のシンボル「ナナちゃん人形」を使ったタイアップ広告等さまざまな形でエリア特化型活動を積極展開しました。



# TOPICS

## コカ・コーラ「森に学ぼう」プロジェクト ～モリゾー・キッコロ里山学校 in 奥三河～ 開催

2010年11月、愛知県新城市「学童農園 山びこの丘」にて中京地区で初めての環境体験学習、コカ・コーラ「森に学ぼう」プロジェクト～モリゾー・キッコロ里山学校 in 奥三河～を実施しました。これは、次世代を担う子どもたちに、自然環境を保全することの大切さを自然の中で体験、学習していただくことを目的としています。当日は、46名の一般参加者を迎えて地元の食材を使って昼食をつくる「食育体験」、森林の間伐や枝打ち、植樹などの「森林体験」、地元NPOとの和太鼓演奏をしながらの「交流体験」が行われました。



## 横浜でのAPEC開催時の 神奈川県警への協力

2010年11月、横浜市にてAPEC首脳会議が開催されました。当社では、神奈川県警察本部の要請を受けて、横浜地区に設置している約3,000台の自動販売機に期間中の公共交通機関の利用を促すステッカーを貼付しました。また、災害対応型自動販売機に搭載された電光掲示板を



活用してAPEC関連の情報や警戒活動への協力を呼びかけました。これらの取り組みが警察活動の円滑な遂行に多大な貢献をしたとして、12月に神奈川県警察本部より感謝状が授与されました。

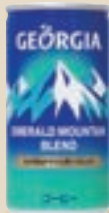


## クリスマスに児童養護施設へ 当社製品をプレゼント

2010年12月、児童養護施設にクリスマスプレゼントとして当社製品を寄贈いたしました。2008年に開始したこの活動は、全コカ・コーラシステムの事業指針「Live Positively (リブ・ポジティブリー) -世界をプラスにまわそう-」の4つの領域のひとつ「地域社会(コミュニティ)」への活動として実施しています。6県下の約120施設にアクエリアス、グラソービタミンウォーター、ミニッツメイド グーニューなど合計約8,200ケースをプレゼントしました。



# 2011年春季新製品のご紹介



**ジョージア エメラルドマウンテンブレンド**  
高級豆エメラルドマウンテンによるベストバランスの味わい  
リフレッシュしたい時にぴったりの、甘すぎず苦すぎない絶妙な  
バランス。コロンビアコーヒー生産者連合会(FNC)が認定した  
高級豆使用。シリーズ統一グラフィックでリニューアルしました。

1月  
発売



**アクエリアス ビタミンガード**  
すっきり飲みやすいレモンフレーバーで  
ビタミンと潤いを補給  
レモンピールエキスを配合し、よりおいし  
く、すっきり飲みやすくリニューアルしまし  
た。500mlあたり1,000mgのビタミンCが  
ぎゅっ。さらにアイトニック設計で、ビタ  
ミンと潤いを補給します。

3月  
発売

い・ろ・は・す /  
い・ろ・は・す みかん

シンプルかつ力強い新グラフィックで  
パッケージをリニューアル

環境にやさしい日本生まれの天然水として人気のい・ろ・は・すが、  
新グラフィックによるパッケージで生まれ変わりました。国内最軽  
量プラントボトルの環境効果はそのまま、容量を35ml 増量して  
555mlに。



**綾鷹**  
厳選した国産茶葉を使用、  
ふくよかな旨みと香り豊かな味わい  
急須でいれたような、本格的な緑茶の味わ  
いが楽しめます。凝縮された緑茶本来のに  
ごりを残すことで、ふくよかな旨みと香り  
豊かな味わいを実現。宇治の老舗茶舗が  
監修した厳選国産茶葉を使用。



2月  
発売

**爽健美茶**  
「旬素材」の甘みが生きた  
やさしい味、カラダに染みる生命力  
15素材全てを旬の時期に摘み取った  
「旬素材」。新たな健康素材として大  
麦若葉と明日葉をプラス。生命力にあ  
ふれた自然の恵みがぎゅっ詰まって  
いて、やさしい味わいがカラダに染み  
わたります。

**ジョージア ヴィンテージ**  
奥深く贅沢な味わいを  
長期熟成豆100%で実現した本格派

ワンランク上の本格・こだわり缶コーヒー。指定  
コーヒー農家が大切に育てた豆を蔵で長期熟成  
し、100%使用。コーヒー本来の甘み、酸味、コク  
の全てが凝縮された力強い旨みが楽しめます。



**ジョージア ヨーロピアン  
コクのブラック**

コクのある味わいと華やかな香りが魅力の  
高級ブラックコーヒー  
しっかりしたコクが楽しめる高級豆使用のエス  
プレッソブラックコーヒー。高級豆の華やかな香り  
も魅力。王冠と黄金の欧州大陸が描かれた、  
ブラックコーヒーらしいヨーロピアンデザイン。



4月  
発売

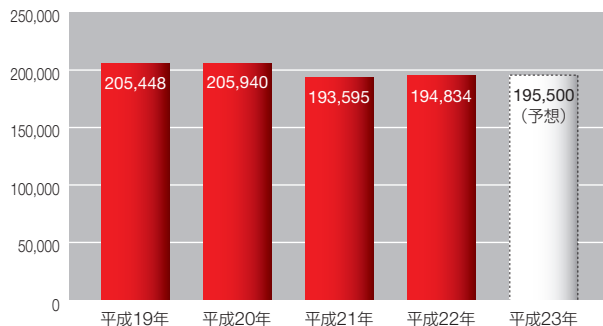
**コカ・コーラ /  
コカ・コーラ ゼロ**

中容量1.25リットルの  
ペットボトルを新たなパッケージで発売  
変わらない美味しさで、125周年を迎える  
コカ・コーラが、日本の世帯構成トレンドと  
家庭内飲用ニーズの変化に対応し、1.25  
リットルの中容量サイズで発売。

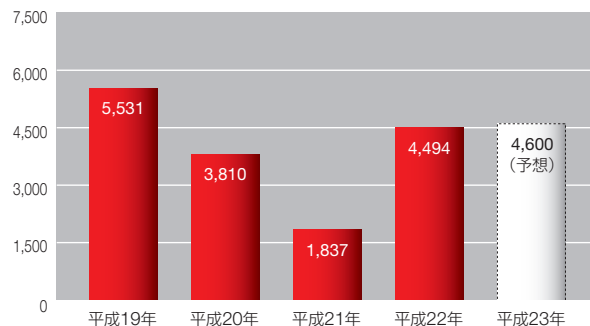


## 財務ハイライト

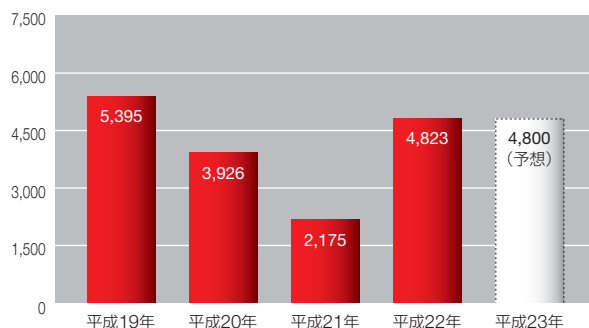
連結売上高 (百万円)



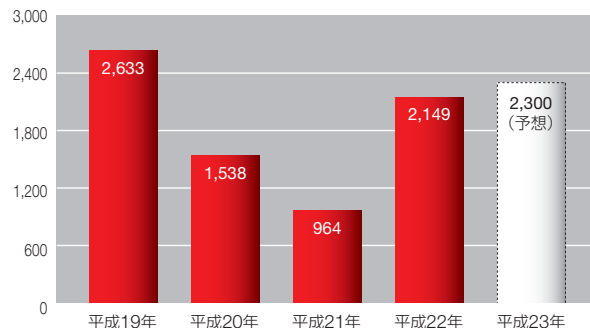
連結営業利益 (百万円)



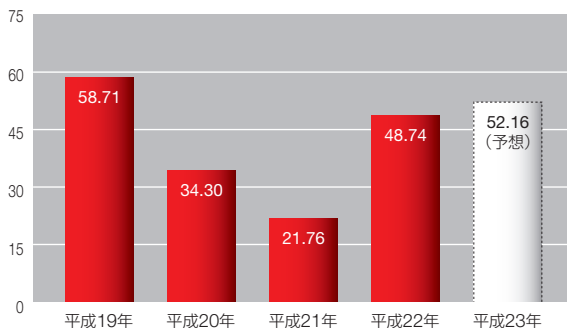
連結経常利益 (百万円)



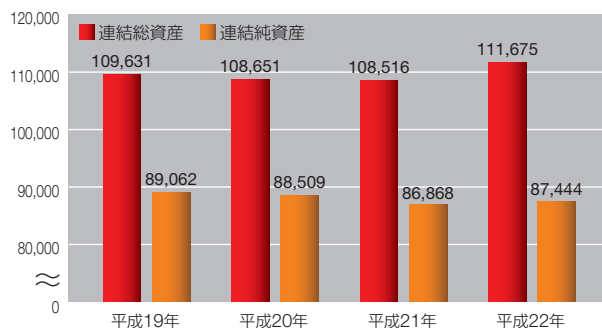
連結当期純利益 (百万円)



1株当たり連結当期純利益 (円)



連結総資産／連結純資産 (百万円)



※平成21年1月4日付をもって1株を500株に分割いたしました。  
過去の数字におきましても、比較のため分割後の数字に換算して表示しております。

## 営業概況

### 販売施策

販売面におきましては、「コカ・コーラ」、「コカ・コーラ ゼロ」、「ファンタ」、「ジョージア」、「アクエリアス」、「爽健美茶」、「綾鷹」および「い・ろ・は・す」を最重点ブランドと位置づけ、販売活動の強化に取り組みました。「コカ・コーラ」、「アクエリアス」におきましては、オフィシャルパートナーであるバンクーバー冬季オリンピックやFIFAワールドカップ™をテーマとした売り場作りを通して売上の拡大を図りました。「い・ろ・は・す」におきましては、市場におけるミネラルウォーターカテゴリの成長に陰りが見える中、消費者の環境意識の高まりに対応したプラントボトルの導入に加え、「い・ろ・は・す みかん」の発売などにより、大きく売上を伸ばしました。「ジョージア」におきましては、「でら! ジョージア」プロジェクトを立ち上げ、東海地方限定商品「ジョージア でら!珈琲」の販売をはじめ、広告・製品・プロモーション・イベントなどから店頭活動に至るまで「東海地方の元気を応援したい」というテーマのもとに地域密着型の営業活動を推進いたしました。

### 生産・物流面の施策

生産・物流面におきましては、コカ・コーライーストジャパンプロダクツ株式会社を中心としたSCM体制の強化を図り、生産性の向上によるコスト削減に努めました。

製造設備におきましては、名古屋工場において、2リットルペットボトルのさらなる軽量化対応工事を実施したほか、東海北・東海南・名古屋・静岡の全4工場で食品安全システム「FSSC22000」の認証を取得し、製品の安全と品質管理の強化に継続して取り組みました。また、当年度より全コカ・コーラシステムで導入された、「品質」、「食品安全」、「環境」、「労働安全衛生」に関するマネジメントシステム「KORE」の基準に則り、各工場および物流拠点に対して労働安全に対する啓蒙活動を行うなど、作業環境面からも物流品質のさらなる向上に努めました。

### CSR 活動の施策

CSR活動におきましては、全コカ・コーラシステムの共通事業指針である「Live Positively (リブ・ポジティブリー) -世界をプラスにまわそう-」を基盤に、「法令遵守」、「製品の安全保証」、「環境保全」および「社会貢献」を重点施策として取り組みました。コンプライアンスの徹底を図るためのグループ社員向け研修会の実施や、サプライチェーンを通じた品質管理体制の強化に努め、安全な製品をお届けするとともに、顧客対応マネジメントシステム「ISO10002」を活用しながら、お客様の多様なニーズに迅速に対応いたしました。環境保全につきましては、全事業所で認証取得している、環境マネジメントシステム「ISO14001」および「KORE」の環境側面である「水資源保護」、「温暖化防止」、「持続可能な容器」、「廃棄物管理」の推進・徹底に努めました。また、地域で行われた様々なスポーツ・文化イベント等への協力など、積極的なCSR活動を展開いたしました。

### 中長期的な施策

経営管理面におきましては、「収益構造改革の実行」を基本方針とした平成21年度から23年度の中期経営計画「Re-birth 2011」の2年目にあたり、さらなるコスト改革と社内の制度・体制の見直しを行いました。「営業戦略」においては収益の柱であるベンディング事業におけるルート最適化やオペレーション体制の改革、「SCM戦略」においてはコカ・コーライーストジャパンプロダクツ株式会社と関東4ボトラーとの協働取り組みの推進により、大きなコスト改善効果を得ることができました。

### 業績について

当連結会計年度の業績につきましては、売上高は1,948億34百万円(前期比0.6%増)、経常利益は48億23百万円(前期比121.8%増)、当期純利益は21億49百万円(前期比122.9%増)となりました。

## 連結財務諸表の要旨

### 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第10期	第9期	
	平成22年12月31日現在	平成21年12月31日現在	
<b>資産の部</b>			
流動資産	43,994	37,376	※1
固定資産	67,681	71,139	※2
有形固定資産	54,871	57,676	
無形固定資産	1,223	1,538	
投資その他の資産	11,586	11,924	
資産合計	111,675	108,516	
<b>負債の部</b>			
流動負債	18,446	14,820	
固定負債	5,785	6,827	
負債合計	24,231	21,647	※3
<b>純資産の部</b>			
株主資本	87,369	86,802	
資本金	6,499	6,499	
資本剰余金	24,818	24,819	
利益剰余金	57,277	56,715	
自己株式	△1,225	△1,232	
評価・換算差額等	29	43	
其他有価証券評価差額金	29	43	
新株予約権	45	22	
純資産合計	87,444	86,868	※4
負債及び純資産合計	111,675	108,516	

(注) 表示単位未満は、切り捨てております。

### 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第10期	第9期	
	平成22年 1月 1日から 平成22年12月31日まで	平成21年 1月 1日から 平成21年12月31日まで	
売上高	194,834	193,595	※5
売上原価	119,881	121,690	
売上総利益	74,953	71,905	
販売費及び一般管理費	70,459	70,067	
営業利益	4,494	1,837	※6
営業外収益	475	464	
営業外費用	145	126	
経常利益	4,823	2,175	※6
特別利益	48	581	
特別損失	1,143	864	
税金等調整前当期純利益	3,728	1,892	
法人税、住民税及び事業税	1,899	795	
法人税等調整額	△320	133	
当期純利益	2,149	964	※7

(注) 表示単位未満は、切り捨てております。

#### ※1 流動資産

流動資産は、前期末に比較して66億17百万円増加し、439億94百万円となりました。これは、主として短期貸付金が増加したこと等によるものです。

#### ※2 固定資産

固定資産は、前期末に比較して34億58百万円減少し、676億81百万円となりました。これは、主として前払年金費用の減少や償却資産の減価償却による減少があったこと等によるものです。

#### ※3 負債

負債は、前期末に比較して25億83百万円増加し、242億31百万円となりました。これは、主としてリース債務の減少があったものの、買掛金や未払法人税等が増加したこと等によるものです。

#### ※4 純資産

純資産は、前期末に比較して5億75百万円増加し874億44百万円となりました。これは、主として当期純利益の計上により利益剰余金が増加したこと等によるものです。

#### ※5 売上高

最重要ブランドの販売強化に取り組んだ結果、夏季における記録的猛暑も追い風となって、販売数量を伸ばすことができ、売上高は前期比0.6%増の1,948億34百万円となりました。

#### ※6 営業利益・経常利益

販売数量の伸びに伴う売上高の増加と、SCM体制の強化等によるコスト削減に努めた結果、営業利益は前期比144.6%増の44億94百万円、経常利益は前期比121.8%増の48億23百万円となりました。

#### ※7 当期純利益

営業利益、経常利益の増加により、当期純利益は前期比122.9%増の21億49百万円となりました。

## 連結株主資本等変動計算書

第10期 (平成22年1月1日から平成22年12月31日まで)

(単位: 百万円)

科 目	株主資本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成21年12月31日残高	6,499	24,819	56,715	△1,232	86,802	43	22	86,868
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△1,587		△1,587			△1,587
当期純利益			2,149		2,149			2,149
自己株式の取得				△2	△2			△2
自己株式の処分		△1		8	7			7
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額 (純額)					—	△13	22	8
連結会計年度中の変動額合計	—	△1	561	6	566	△13	22	575
平成22年12月31日残高	6,499	24,818	57,277	△1,225	87,369	29	45	87,444

(注) 表示単位未満は、切り捨てております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科 目	第10期	第9期	
	平成22年 1月 1日から 平成22年12月31日まで	平成21年 1月 1日から 平成21年12月31日まで	
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,704	17,148	※8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,252	△12,351	※9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,868	△4,255	※10
現金及び現金同等物の増加・減少額	△416	541	
現金及び現金同等物の期首残高	5,978	5,437	
現金及び現金同等物の期末残高	5,561	5,978	

(注) 表示単位未満は、切り捨てております。

### ※8 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による収入は、前期に比べ4億44百万円減少し、167億4百万円となりました。これは主として前渡金や仕入債務の増減等によるものです。

### ※9 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による支出は、前期に比べ19億円増加し、△142億52百万円となりました。これは主として短期貸付金の純増等によるものです。

### ※10 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による支出は、前期に比べ13億87百万円減少し、△28億68百万円となりました。これは主としてリース債務の返済による支出や自己株取得による支出の減少等によるものです。

## 当社ホームページについて

その他 IR情報もホームページに掲載しております。  
是非ご参照ください。

### 当社ホームページ

<http://www.cccj.co.jp/>

### 当社 IR 情報

<http://www.cccj.co.jp/ir/>



当社ホームページ



当社 IR 情報

## 株主インフォメーション

### 特別口座を ご利用の株主さまへ

株券電子化により、証券会社の口座にお預けにならなかった当社株式は三菱UFJ信託銀行にある「特別口座」にて管理しています。「特別口座」では株式の売買はできません。証券会社の口座に移管されることをお勧めします。単元未満株式についても移管が可能です。

三菱UFJ信託銀行株式会社  
証券代行部

0120-232-711 (フリーダイヤル)

[受付時間] (土・日・祝祭日を除く)  
平日 9:00~17:00

### 「特別口座」から証券会社の口座に移管する方法

#### 1 証券会社に口座を開設する。

※すでに証券会社に口座をお持ちであれば、新たに開設の必要はありません。

#### 2 三菱UFJ信託銀行に、振替用の請求用紙を請求する。

※ホームページからも印刷可能です。

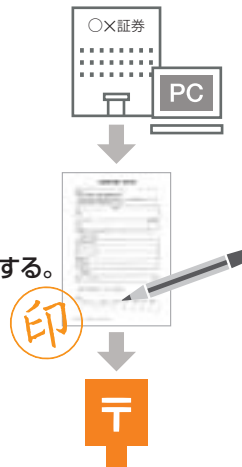
URL: [http://www.tr.mufg.jp/daikou/tetsuzuki\\_01.html](http://www.tr.mufg.jp/daikou/tetsuzuki_01.html)

#### 3 請求用紙に必要事項を記入・押印して、三菱UFJ信託銀行に送付する。

送付先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

#### 4 手続きは完了です。証券会社の口座に株式が移管されます。

(所定の日数がかかりますのでご了承ください。)



### 配当金の 口座振込のご案内

配当金のお受け取りには、ゆうちょ銀行または郵便局で配当金領収証と引き換えに受領するほか、口座振込が選択できます。口座振込をご利用いただけますと、配当金の支払開始日にご指定の口座へ振り込まれ、迅速かつ確実にお受け取りいただけます。

口座振込には右記の方法があります。

手続きの詳細につきましては、お取引先の証券会社にお問合せください。

#### 株式数比例配分方式

証券会社の口座で配当金を受領する方式です。複数の証券会社で当社株式を保有している場合、証券会社ごとの保有株式数に応じた配当金がそれぞれの証券会社の口座に入金されます。



※ ご所有の株式の一部が特別口座に記録されている場合などには、この方式は選択できません。

#### 登録配当金受領口座方式

保有するすべての銘柄の配当金を、指定した1つの金融機関の口座で受領する方式です。



※ ゆうちょ銀行の貯金口座は指定できません。

※ 1つの銘柄について振込先指定の手続きを行えば、自動的に他の銘柄の配当金も同一の銀行口座で受領できます。

#### 個別銘柄指定方式

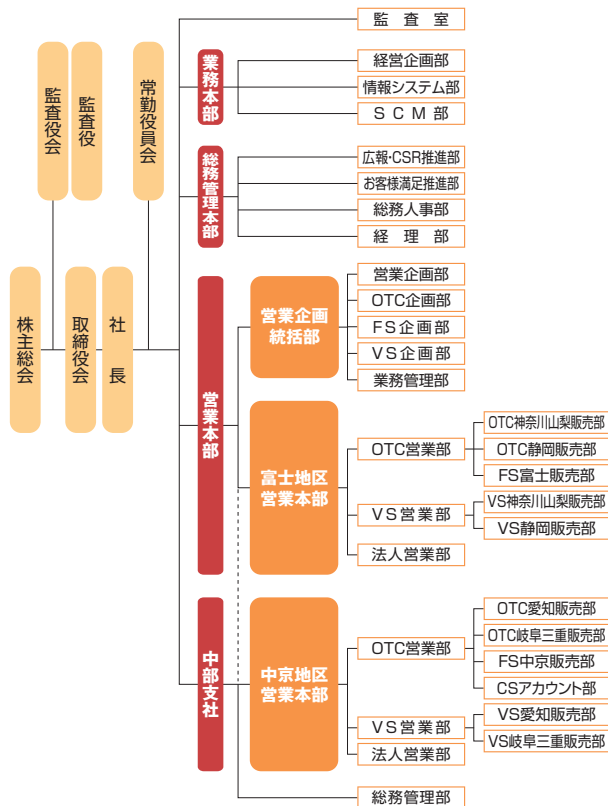
保有する銘柄ごとに指定した金融機関の口座で、配当金を受領する方式です。



※ 銘柄ごとに振込先指定の手続きが必要となります。

# 経営体制 (平成23年3月29日現在)

## 組織図



## グループ会社

- **セントラルジャパンロジスティックス株式会社**  
清涼飲料等の配送
- **セントラル ジャパン テクノサービス株式会社**  
販売機器の保守、修理
- **エフ・ヴィセントラル株式会社**  
自動販売機による飲料等の販売
- **コカ・コーラセントラルジャパンプロダクツ株式会社**  
清涼飲料の製造
- **コカ・コーライーストジャパンプロダクツ株式会社**  
(関連会社)  
清涼飲料の製造

## 役員

### 取締役

代表取締役社長	高橋 顕 三	
取締役専務執行役員	須方 信 雄	総務管理本部長、内部統制担当
取締役常務執行役員	大野 利 秋	営業本部長
取締役常務執行役員	尾崎 昭 宗	業務本部長
取締役常務執行役員	楢井 幸 夫	中部支社長(兼)中京地区営業本部長
取締役	菱田 州 男	三菱商事株式会社 九州支社 生活産業部長
取締役	米井 元 一	株式会社明治屋 代表取締役社長
取締役	魚谷 雅 彦	日本コカ・コーラ株式会社 取締役会長
取締役	碓田 聖 史	三菱重工食品包装機械株式会社 代表取締役社長

### 監査役

常勤監査役	荒川 利 行	
常勤監査役	近藤 良 雄	
監査役	谷村 信 哉	三菱商事株式会社 機械グループCEOオフィス室長
監査役	増 一 行	三菱商事株式会社 コーポレート部門管理部長

### 執行役員

常務執行役員	島田 勝 一	広報・CSR推進部長
執行役員	野々山 和 博	富士地区営業本部長
執行役員	鎌田 勝	営業企画統括部長
執行役員	嶋田 嘉 雄	中京地区営業本部副本部長(平成23年4月1日付就任)
執行役員	橋本 誠 治	総務人事部長
執行役員	近本 裕	中京地区営業本部法人営業部長
執行役員	山田 正 明	富士地区営業本部VS営業部長

## 株式の状況 (平成22年12月31日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数	171,000,000株
発行済株式の総数	45,003,495株
株主数	14,618名

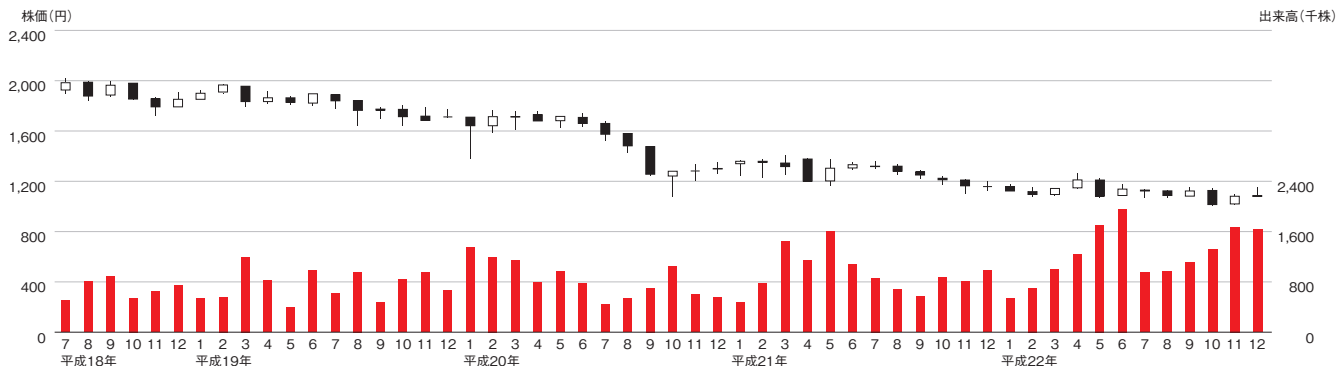
### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
三菱商事株式会社	10,118,125	22.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社退職給付信託(明治屋口)	3,094,800	6.87
THE COCA COLA EXPORT CO.	2,250,500	5.00
三菱重工業株式会社	2,047,425	4.54
東洋製罐株式会社	1,878,545	4.17
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	1,737,400	3.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,168,000	2.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	979,900	2.17
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	660,800	1.46
株式会社秋田屋	652,925	1.45

※1 出資比率は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

※2 当社は、自己株式を 907,223株保有しておりますが、上記大株主から除いております。

### 株価および出来高の推移



※1 平成21年1月4日付をもって1株を500株に分割するとともに、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を導入いたしました。

※2 平成18年7月から平成20年12月までの株価および出来高につきましては、遡って株式分割したものとして表示しています。

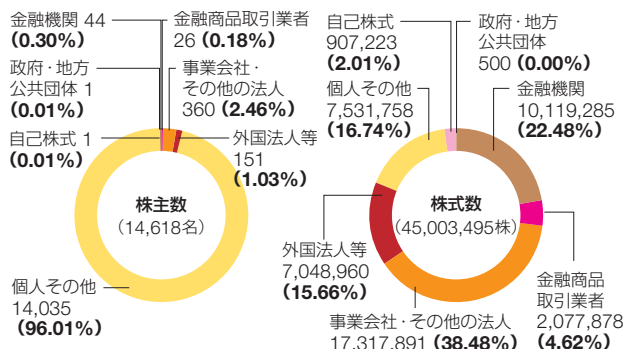
### 株主優待制度のご案内

毎年6月30日、12月31日現在の株主のみなさまに、当社製品を贈呈しております。100株以上500株未満保有されている場合は720円相当、500株以上保有されている場合は2,880円相当の製品をお送りしています。



(写真の製品と異なる場合があります。)

### 株主分布状況



# 会社の概要・株主メモ

## 会社の概要 (平成22年12月31日現在)

商号	コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社 Coca-Cola Central Japan Co., Ltd.
本社所在地	〒220-8141 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号
設立	平成13年6月29日
資本金	64億99百万円
上場取引所	東京証券取引所および名古屋証券取引所 各市場第一部
会計監査人	有限責任 あずさ監査法人
格付け	A+ (シングルAプラス) 日本格付研究所 A (シングルA) 格付投資情報センター
事業内容	清涼飲料の製造、加工および販売等の事業
従業員数	連結2,664名、単体1,604名

### お問合せ先:

コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社 総務人事部  
〒220-8141 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号  
TEL. 045-222-5850 FAX. 045-222-5857

## 株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日

剰余金の配当の  
基準日 6月30日、12月31日

定時株主総会 毎年3月

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先  
〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
0120-232-711 (フリーダイヤル)

電子公告により行います。  
\* ただし、電子公告によることができない事故、  
その他のやむを得ない事由が生じたときには、  
日本経済新聞に公告いたします。  
公告掲載URL  
<http://www.cccj.co.jp/ir/koukoku/>

### お問合せ

証券口座で株式を  
保有している株主さま

住所変更、買取・買増請求その他お手続きに  
つきましては、口座を開設されている証券会社  
等にお問合せください。

特別口座で株式を  
保有している株主さま

住所変更、買取・買増請求その他お手続きに  
つきましては、特別口座の口座管理機関(三菱  
UFJ信託銀行)にお問合せください。

※なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。



森林に配慮して適切に管理された森林認証紙と環境に優しい植物油インキを使用し、針金を使わない「ECO綴じ」を採用しています。